



## 褥瘡対策委員会のご紹介

当院は平成 14 年に褥瘡対策委員会が発足して以来、入院患者さんの褥瘡対策（予防・治療）について病院全体で検討してきました。

◆委員会メンバー：院長（医師）、認定褥瘡医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、栄養士、リハビリ（理学療法士）、事務職員など多職種で構成しています。

◆活動内容：褥瘡治療と予防、褥瘡回診、効果的なケアの検討、マニュアルの作成、職員教育など

褥瘡回診は、認定褥瘡医師、看護師、栄養士、薬剤師、事務職員で週 2 回行っています。体圧分散に優れたマットレスや高機能電動マット、新しい被覆材や薬剤の導入、踵部の褥瘡治療とケアの見直しと改善なども行っています。

平成 19 年 7 月の褥瘡回診開始時には、褥瘡保有者の内、約 60%の患者さんを回診していましたが、この活動が職員の褥瘡管理への意識向上につながり、回診依頼が増加。現在では保有者の内、約 85%の患者さんの回診を行っています。褥瘡保有率は、入院患者さんの内 10~15%を占めていますが、治癒率はここ 5 年間で 7%代から 14%前後に向上しています。

今後も褥瘡を有する患者さんが、1 人でも減るように努力していきたいと思っております。



褥瘡回診の様子

社会医療法人 若弘会

わかくさ竜間リハビリテーション病院

〒574-0012

大阪府大東市大字龍間 1580

TEL : 072-869-0116

FAX : 072-869-0135

発行 : 平成 28 年 10 月

発行者 : 地域連携課 褥瘡対策委員会